

子ども宇宙教室 2024

参加
無料

VRで 体験する アルマ望遠鏡

プラネタリウムで
VRの世界を体験しよう!

講師 国立天文台
ひらまつ まさあき
平松正顕先生

協力：天文仮想研究所
アルマ望遠鏡ワールド制作：S_朝霧

9月7日 土 17:30▶19:00

【会場】ディスカバリーパーク焼津天文科学館 プラネタリウム
【定員】165人(申込先着順) 【対象】小学生以上 ※小学生未満のお子さまはご入場いただけません。
【申込み】申込フォームにてお申し込みください。※8月7日(土)9:00より受付を開始します。



お申し込み
はこちら!

ALMA 望遠鏡
アバター(7mくん)

 ディスカバリーパーク焼津 天文科学館

VR空間に再現されたアルマ望遠鏡で学ぶ**新感覚**宇宙教室！

ひらまつ
まさあき

平松正顕



てんもんかそう
けんきゅうじょ

ひらまつ まさあき
平松 正顕



1980年、岡山県生まれ。国立天文台 天文情報センター周波数資源保護室長。専門は電波天文学、科学コミュニケーション。

東京大学大学院理学系研究科天文学専攻博士課程を修了後、台湾中央研究院天文及天文物理研究所 博士研究員 /ALMA 地域センターアストロノマーを経て 2011 年 3 月より国立天文台に勤務し、東アジア・アルマ教育広報主任として、「アルマ望遠鏡」の広報活動を担う。2021 年 6 月から国立天文台天文情報センター周波数資源保護室に異動し、天文観測に適した環境を社会といっしょに作るための活動をしている。近著に『宇宙はどのような姿をしているのか』（ベレ出版）、『ウソみたいな宇宙の話を大学の先生に解説してもらいました。』（秀和システム）。

天文仮想研究所

Virtual Space Program



VR空間で活動する宇宙同好会。VRChat内に天文台や宇宙博物館、ロケット発射場などのワールドを作り、天文学や宇宙開発を楽しむイベントや研究を行っている。

VR って何？

バーチャル リアリティ
Virtual Reality
= 仮想現実

▼VRChat 内での講演会の様子



コンピューターで作られた仮想空間を体験する仕組み。VRChat は、ソーシャル VR と呼ばれ、参加者はアバターをつかって、VR 空間でコミュニケーションをとることができる。

アルマ望遠鏡って何？

南米チリの標高5000メートルの高地にある、66台のパラボラが並ぶ世界最大級の電波望遠鏡群。日本やアメリカ、ヨーロッパなどが協力して建設運用している国際共同プロジェクト。

9月7日 土 17:30▶19:00

【会場】天文科学館 プラネタリウム

【参加料】無料

【定員】165人（申込先着順）

【対象】小学生以上 ※小学生未満のお子さまはご入場いただけません。

【申込み】申込フォームにてお申し込みください。※8月7日 9:00 より受付を開始します。

お申し込み
はコチラ！



※この事業は、日本学術振興会科学研究費補助（23K02804）「メタバースにおける科学コミュニケーション活動の評価とモデル開発」の支援を受けています。教室参加者には、本研究のためのアンケートに任意で回答をお願いします。

子ども宇宙教室参加者限定

天文台公開

※雨天曇天時は中止



ディスカバリー
公式ウェブサイト
はコチラ！